

第61号



NPO法人ユーアイやちよ
〒276-0034
八千代市八千代台西 8-16-1
TEL.047-482-4109
FAX.047-482-4179
<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

24年度の制度改定（主な訪問介護の改定ポイント）

① 生活援助の時間区分の見直し

20分以上 45分未満（生活2）
30分以上 60分未満（生活2） ⇒ 45分以上（生活3）
60分以上の援助を行っても、生活3（上記）と同じ
・これに伴い、介護予防訪問介護は1時間30分以内／1回 ⇒ 1時間以内

② 身体介護に引き続き生活援助を行う場合の時間区分の見直し

30分以上 1時間未満 ⇒ 20分以上（身体1 生活1）～1時間15分未満
60分以上 1.時間30分未満 ⇒ 45分以上（身体1 生活2）～1時間40分未満
90分以上 1時間30分以上 ⇒ 70分以上（身体1 生活3）～1時間40分以上
（身体介護2の時は+30分、身体介護3の時は+1時間それぞれプラスされる）

③ 生活機能向上加算

- ・サービス提供責任者が、訪問リハビリテーション事業所の理学療法士などによる訪問リハビリテーションに同行し、理学療法士などと一緒に行ったアセスメント結果に基づき訪問介護計画を作成していること（3か月毎算定）

④ 介護職員処遇改善加算（改正前には交付金により交付を受けていた）

⑤ 地域区分の見直し 八千代市はその他の地域 ⇒ 6級地（+3%）

*ケア時間短縮によって、こんな影響があるようです。

- ・ケア現場では、利用者さんに笑顔で会話を交わす時間がとることが難しい。
- ・内容の多いケアケースでは限られた時間内でのやりくりが苦労する。
- ・手拭きの床掃除をモップ拭きに変更したケースもある。
- ・調理、掃除のケアは調理の日、掃除の日に分けた。
- ・利用者さんと話し合い、ケア内容に優先順位をつけ、できないところは次回にまわす。



八千代市高齢者保健福祉計画（平成24年度～26年度）

第6次老人保健福祉計画

第5期介護保険事業計画

事務所に置いてあります。自分たちの今、これからの福祉計画（八千代市が目指す長寿福祉社会像）を知っておきましょう！！

ユーアイやちよ創立20周年記念講演会

大橋謙策先生講演会「地域の新たな支えあい」 ～住民と行政の協働による新しい福祉～

平成24年6月9日(土) 於、八千代市福祉センター

様々な立場の人たちが、地域福祉論の第一人者である大橋先生のお話を一緒に聞き、これからの地域福祉の在り方、進め方をそれぞれの立場で考える機会になればと思い、地域ネットワーク事業として企画しました。

【主な講演内容】

国は国、地方自治体は自治体、そして住民は住民の役割をそれぞれが果たし、連携し合うことが協働であり、これからの新しい福祉といえる。そこで、住民は、判断する力を持つための学習能力を高める必要がある。福祉の先進国、スウェーデンではそれぞれのコミューン(地方自治体)が高齢者や障害者への社会サービスを担当。住民も参加することも多く、日曜や夜の会議は当然のこと。

地域福祉は、ソーシャルサポートネットワーク(ご近所の底力)4つの機能が在宅を支える。それは・評価的サポート・情緒的サポート・ちょっとした生活のサポート・情報サポートである。

【アンケートから】

雨の中、参加した人たちは、パンチのある判りやすい先生のお話に引き込まれ、皆、熱心に聞いていました。講演後のアンケートでは、以下のような感想やご意見が寄せられました。

- ・楽しいこと、悲しいことを一緒に感じる人、情報を教えてくれる人、ちょっとしたことを手伝ってくれる人を身近に持ちたいし、また、その一人になりたいと思う(住民ボランティア)
- ・不安や不満を行政や事業所に向けるのではなく、住民として何をしていくべきかを思い知らされた・住民の意識の向上やニーズをどう繋げるかを考える必要性を感じた(一住民)
- ・社会福祉が、市町村に移行した中で、地域のことをもっと勉強する必要性を感じた。また、「ご近所の底力」の重要性も理解したので、今後、自治会活動などを通して、周りの方にも伝え、ともに学び仕組みづくりに取り組んでいきたい(自治会役員)
- ・地方自治体として、この先、地域福祉に対してどのような援助をしていけばよいのか、深く考えさせられた(行政職員)
- ・ユーアイやちよさん主催で福祉についての勉強会や高齢者、障害者、子育てなどに分け(分科会)地域の研修会の企画を強く要望します。その他「感激した…」の記述が多数ありました。(参加者75名) 椎名

藤城恒昭氏を悼む

去る6月18日、当法人前監事、藤城恒昭氏をご逝去されました。突然の訃報に接し、驚くと共に哀悼の念に堪えません。

藤城氏は平成13年6月以来、11年の長きに亘り、城西国際大学教授職等のご多忙の中、監事として当法人の運営にご尽力いただきました。会計監査、業務監査の都度、法人運営や方向性に関する示唆に富んだお話をしてくださり、我々ユーアイやちよは、どれほど元気付けられ励まされたか計り知れないものがあります。

ここに、生前のご恩に感謝しつつ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

在宅介護時における栄養補給、医療的処置について

ケアマネ社内勉強会で、看護師養成学校の講師である上原君江先生に管を使用する医療について学ぶ。

管を使った栄養補給には、日頃よく目にする低栄養の静脈内点滴や、太い血管に高カロリーを直接入れる中心静脈法、鼻ろう、胃ろう、空腸など、目的や状態に合わせた種類がある事、その際の注意事項も併せて勉強する。あの時のあれがそうだったのかなどと、今頃、納得しながら説明を聞く。

医療的な処置として、気道確保が目的の気管内挿入チューブ、尿路に異常がある人に行う代用膀胱、直腸癌術などで腸内の排泄を目的で作られる人工肛門、夜間頻尿による睡眠障害の人や尿が出ない尿閉の人のために着用するカテーテルという物があり、それにも数種類ある事、注意として管折れや清潔、袋の位置なども学ぶ。皆それぞれに目的があり、効果があり、命が支えられている事を知る。日頃、理解している様で理解していない。

講師の説明はとてもわかりやすく、機会あればまた別の課題で学びたいと思う。 加藤ヨリ

平成24年度 賛助会員となられた方々(敬称略)

K.A、G.Y、N.Y、T.T、S.M、T.M、K.M、S.I、T.I、
T.K、K.W、M.I、M.K、K.M、F.T、J.O、S.Y、K.S、
A.M、S.T、S.K、Y.S、S.S、T.S、T.A、J.T、T.S、
K.A、T.W、K.O、T.K、M.T、T.S、H.I、K.I、
Y.S (順不同)

いつもご支援を頂き心より御礼申し上げます。

● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

今西 則子さん

(1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？

1年

(2) 好きな言葉は？

桜梅桃李(意味は桜は桜、梅は梅、自分らしくということです)

(3) 仕事で心がけていることは？

いつも笑顔で、仕事を始める前に今日はどんな事、何を召し上がりたいか聞きながらやっています

(4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？

いつもありがとう。前回のメニューおいしかったからまた作って。あと利用者さんのお子さんから、私にいつもありがとうの手紙をいただいた事。

(5) 仕事以外で楽しいことは？

映画を見に行ったり、料理やケーキ作りをしている時。

次回は、田中 裕子さん に、お願いします。



★行事報告

- 4/20 八千代市事業者協議会総会
 4/21 4月定例会 研修「24年度介護保険改訂」
 5/17 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 5/19 24年度総会
 6/9 “ユーアイやちよ” 創立20周年記念講演会
 大橋謙策先生「地域の新たな支えあい」
 6/16 6月定例会 研修「感染症について」
 7/19 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 7/21 7月定例会 研修「認知症の方の対応について」



☆行事予定

- 8/2 いわき市 常磐下船尾宿舎 出前ふれあいサロン
 8/28 旭市飯岡へ（被災地出前ふれあいサロン）
 9/15 9月定例会 研修「法令順守・リスク管理」
 9/20 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 10/6 ユーアイやちよ創立20周年「記念のつどい」八千代台文化ホール
 11/17 11月定例会 研修「身体介護」



『20周年の集い』の出し物（演芸、演奏、踊り、マジック、その他何でも）の出来る人を募集中！ ぜひお申し出ください。

○ 被災地へ出前サロン（手芸を一緒にします）に行きます。（ほぼ、1日ばかり）

- ・交通費＝事務所負担 ・昼食代＝参加者
- ・参加申し込み締め切り 8月10日 椎名まで
- 8月28日（火） 旭市 飯岡へ

編集後記

先日、4年ぶりに立教大学で障害の有無に関わらず「共に楽しむ」ために何が必要かについて、学生さんたちに話をさせていただく機会をいただきました。主に「感謝の心」と「思いやりの心」の意味や大切さを話しました。深い感謝の心は無償なのですが、人はどこかで求めているため、深い感謝の気持ちはなかなか持てないこと、感謝の気持ちで心が満たされた時が最も幸せな心の状態であること、深い思いやりの心は相手が「当たり前」と思う中にあることなどを話しました。もっと話を聞きたいという学生さんもいて、私も感謝の気持ちでいっぱいになりました。 網干

ユーアイやちよ の あゆみ
 編集人 網干勝 発行人 桃井哲朗、椎名美代子